

サポートルームだより

2024年9月11日 No.5
 町田市立南成瀬小学校
 サポートルーム拠点校
 校長 吉成 美紀
 サポートルーム担当

長い夏休みも終わり、2学期が始まりました。1週間が経ち、少しずつリズムが整ってきていると感じます。サポートルームでの指導も、学んでいたことを思い出させながら、よりレベルアップできるようにお子さんに寄り添った指導をしていきます。

10月には個人面談、11月にサポートルーム授業参観や中学校サポートルーム説明会を行います。ご多用とは存じますが、ご予定いただけるとうれしいです。

中学校サポートルーム説明会を行います

昨年までは卒業生のご家族による講演会を行っていましたが、今年度は中学校からサポートルームの先生をお招きし、説明会を行うことにしました。近隣の中学校サポートルーム拠点校2校が揃い、それぞれの指導内容や教室環境などについて、直接説明をいただくことができます。実際に利用することはないかもしれませんが、どのような環境が用意されているかを知るだけでも、安心感につながるのではないかと思います。

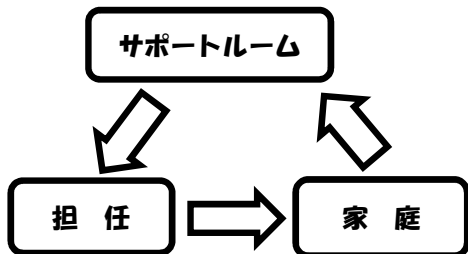
中学校生活や、学習についてなど、気になることを直接聞くことができる機会です。ぜひご確認ください。

日時 2024年11月14日(木) 9:00~11:00

場所 南成瀬小学校 3F サポートルーム

- 内容
- ・中学校入学時に支援を受けるための流れ
 - ・南成瀬中学校(成瀬台中・南中・つくしの中)サポートルームによる説明
 - ・町田第二中学校(南大谷中・町田第一中)サポートルームによる説明
 - ・質疑応答 ・個別相談 ※当日、午前中の指導はありません。

連絡帳について



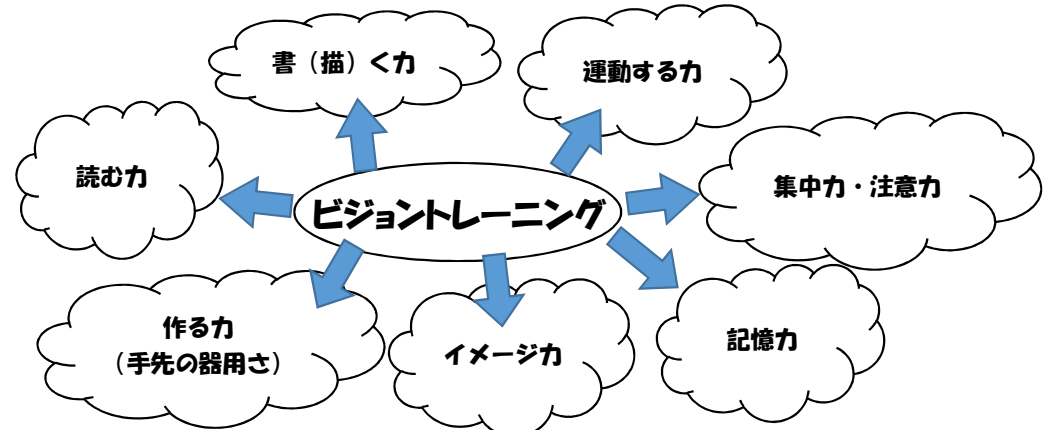
○お子様が学校から連絡帳を持ち帰ったものの、家庭で出し忘れていたときは、目につきやすいところに「連絡帳」など文字で視覚化したり、動線を工夫したりして、流れを習慣付けられるようご協力ください。出したことで褒められるなど、「家ですと、(お子さんにとって)よい結果になった」という経験が、習慣付けにつながります。

○コメント欄には、家での様子や、それぞれに共有したいことをご記入ください。お忙しいときは、押印またはサインだけでも構いません。

ビジョン・トレーニングについて

人間は、得られる情報の80%を目から取り入れていると言われています。それだけに、見る力を高めていくことは大切です。

サポートルームでは、読み書きや運動などに苦手を感じているお子さんに、「ビジョン・トレーニング」を行っています。続けると次のような力を身に付けることが期待できます。



以下、3つの種類のトレーニングをバランスよく行うことで「目で対象物をとらえる」「脳で認識する」「体を動かす」という一連の機能が高められます。

眼球運動トレーニング	見たいものを眼でとらえ、すばやくピントを合わせるためのトレーニング。
視空間認知トレーニング	眼で見たものの形や色、距離感を正しく認識するためのトレーニング。
眼と体のチームワークトレーニング	ボールをキャッチするなど眼からの入力情報に合わせて思う通りに体を動かすトレーニング。

ご家庭でも取り組める、見る力を高める方法はたくさんあります。

<ものづくり>

アイロンビーズを並べたり、プラモデルを作ったり、ブロックを組み立てたり。ものをつくる遊びは眼と手を同時に動かすトレーニングになります。

また、できあがりイメージしながら手を動かすと、視覚認知の向上にもつながります。

<ボール運動>

球技は視覚機能を訓練するのに最適な方法の一つです。キャッチボールをしたり、サッカーボールでパスの練習をしたりしてみましょう。また、バドミントンもおすすめです。苦手な子は、風船遊びから始めるとよいです。遊びの一環として、楽しんで行うことが大切です。

「楽しい」「できた」「面白い」など、やってよかったと思えるような経験をすることが、行動を続けていくための力になります。取り組んだこと、続けたことを、ぜひ褒めてください。

参考文献:『発達気になる子の 学習・運動が楽しくなる ビジョントレーニング』

北出 勝也 監修(ナツメ社)